

news 88

第20号
2002年7月

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3866-2221 (営業部) TEL 03-3866-2224 (営業部)
FAX 03-3866-2222 http://www.prima-gakki.co.jp/
札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

♪ ピアノとおともだちになる 「はじめてのピアノあそび」♪

「はじめまして、こんにちは！」
お母さんの後ろに隠れながらも、あたりを
キョロキョロ。ピアノにとっても興味があり
そうです。



かとう るみ
加藤久美子

私は、「4匹のカエルの絵」を見せて「くわくわく」と絵の上を指さして見せました。すると同じように、「カエルの絵」を指さしながらくわくわくと指さしてくれるのです。「では、歌と一緒にやってみようか」顔が「うん！」と言わんばかりにこちらを向きます。「♪～カエルのうたが～♪」「くわくわくわく」歌に乗って「カエルの絵」の指さしも、元気になってきました。「ピアノの鍵盤の上にカエルがピョーン！（ドの音で）さあ、4匹のカエルピアノで弾いてみましょう！」こちらの伴奏に合わせて「くわくわくわく」（ドドドド）はじめてのピアノ体験です！指も一本ずつ動かない。鍵盤の高い、低いもわからない。じっと座ってられない。音符だけの教本に入るには、まだまだ早すぎるなど、教える側は、四苦八苦することが多々あります。そんな、子どもたちのために教本＜ピアノとおともだちになるはじめてのピアノあそび＞を作りました。音符が読めなくても、絵を直接、指でさし弾いていくこの方法は、2才の子からでも始められ、1本指の簡単な動きで楽しく弾いていけます。先生の伴奏に合わせて、鍵盤の上のユニークな絵のページを次々とめくっていく事に、ピアノへの興味付けや、もっと弾きたいという気持ちをそだてます。ピアノと一体感を味わいながら、子ども自身がのびのびと音を出しピアノレッスンができるように…。

これからピアノ体験する子供たちへ～＜ピアノとおともだちになるはじめてのピアノあそび＞～はじめませんか！



定価（本体800+税）
ドレミ音楽出版社刊

プロフィール

常葉短期大学音楽学部卒業。同短大専攻科修了。その後、小、中学校の音楽教師として勤務。現在、自宅にて音楽教室を主宰。教員時代の経験を活かして、カードによるソルフェージュ指導を提案。カード教材「どれみ畑」を考案し、実用新案を取得。主な著書に「どれみ畑カードシリーズ」「はじめてのピアノあそび」（ドレミ音楽出版社）があり、それぞれのテキストを用いた公開講座を全国の楽器店で展開中。

今月のNEWSな 楽譜 & グッズ

★音楽之友社

●新編 音楽中辞典 <音楽之友社創立60周年記念出版>
海老澤 敏・上参郷祐康・西岡信雄・山口 修 監修 850頁
本体 4,800円（特価期限7月末日、以降本体 5,500円）発売中
新しい音楽と音楽家の誕生、学術研究の進展などによりたえず変化する音楽界、さらに音楽に関する情報が増大する一方の今日の情報化社会の状況に合わせ、最新の情報と研究成果を全編にとりいれました。一般音楽愛好家、アマチュア音楽家、音楽学生、音楽教師など、あらゆる読者の期待にこたえられる内容の新時代の音楽辞典です。

★ドレミ楽譜出版社

●こどものためのピアノ小曲集 バイエルといっしょ！
佐渡谷 豊 著 80頁 本体 1,000円 7月下旬
子どもたちの親しみ易い曲や、これまでの「小学生の音楽教科書」から人気のある主要な曲を多く採り上げた「バイエル併用の練習曲集」です。ソルフェージュにも役立つよう配慮し、自分で作曲するコーナーも設けました。バイエル修了と共に、読譜力、伴奏力、和音などの理解が身に付くことでしょう。

●カードで音符<へ音記号>/カードで和音<へ音記号>
加藤久美子 考案 各34頁 各本体 1,000円 7月下旬
現代っ子が自分からすすんで、「やりたい」と言う、楽しく学べるマルチ音楽カードが誕生。音符から和音まで、カードゲームを通して音楽の基礎を学ぶ教材です。学習者の年齢や学習のねらいに合わせて枚数、組み合わせ等自由に選択して使えます。

★全音楽譜出版社

●バッハ演奏へのアプローチ
はじめてのバッハ「インベンション」のまえに
高木幸三 校訂・解説 72頁 本体1,300円
導入期から初級に入る前に是非とも習得して欲しいポリフォニーの曲集です。本曲集はその重要な作曲家J. S. バッハの31曲のやさしい小品です。収録されている31曲はそれぞれ練習の目的が明確に表示されているため、ピアノ指導者やレッスンを受けている導入者や初歩者に限らず、大人のピアノ愛好者や独習者までどなたでも無理なく安心して学習できる曲集です。

★ヤマハミュージックメディア

●とっとこハム太郎 ピアノだいすき！レパートリー
32頁 本体 1,000円 ※入門者向き 7月中旬
「ピアノを習わせたい」そんなお様のための絵本です。ピアノに初めて触れてから、両手5指以内で（指くぐりなし）ハム太郎の曲や、やさしい練習曲を覚えてレパートリーをふやしましょう。歌を歌って、ピアノを弾いて！たのしくハムちゃんと遊びましょう。

●ヤマハピアノライブラリーシリーズ
現代ハノンピアノ教本 久保勝義 監修
140頁 予定価格 900円 初級～中級者向き 7月下旬
ピアノのメカニクスの練習書として、ほぼ一世の歴史を持つ「ハノン」。一般に行われている練習の見落されがちな留意点、より効果の上がる練習方法の提言を、巻頭・巻末に掲載。ピアノ学習者・指導者必携の、これからのスタンダード版です。

★春秋社

●“音楽の耳” トレーニング全2巻
近藤 謙 監修 パート1＝152頁
予価 2,200円/パート2＝208頁 予価 2,500円 7月下旬
音楽を学ぶとき最も大切なことのひとつは、“音楽の耳”をもつことです。それは演奏や作曲の基礎となるばかりでなく、音楽をより深く理解して聴くためにも必要なものです。従来、ソルフェージュの科目として、もっぱら視唱と聴音が行われてきましたが、それは楽譜の読み書きの練習が主体でした。こうした旧来のソルフェージュ教育の欠陥と不備を改めて、音楽の実践に必要な総合的な能力を育成するために新たに開発されたのが本書です。

なるほどレッスン、あなたのピアノレッスンに変化を...

◆レッスン見学のご案内◆

「楽しみながら弾けるための効果的指導法」に興味をお持ちの先生には特にお薦め.....子供達の生のレッスンをご覧頂きます。使用テキストはバスティン・メソッド。

日程：9月22日（日）～23日（月） 指導者：池川礼子
場所：鹿児島市
11月2日（土）～4日（月） 指導者：藤原亜津子
場所：茨城県龍ヶ崎市
レッスン内容：習いはじめ～中級まで
ソルフェージュレッスンあり

お問い合わせ先：（株）東音企画 楽譜事業部（担当：柳井）
電話：03-3944-1581 FAX:03-3944-2130
E-mail:bastien@piano.or.jp URL:http://www.to-on.com/bastien



ピアノ指導の現場から



“子供は10人10色…” 皆、良い子

先日、Mちゃん親娘がレッスンに来た時のことです。Mちゃんは小学校4年生、利発で少し大人っぽいピアノの上手な子です。しかし、今日の2人の様子は、いつもとは明らかに違っていました。母親は頭から湯気が出そうに怒っていました。一方Mちゃんは元気がなく、いまにも泣き出しそうに見えました「どうしたの」「実は今日、授業参観の帰りなのです。この子は先生の質問に、クラスの仲間が大勢手を上げているのに、答えはわかっていはずなのに手を上げようとしません。積極性が全然無いのです。」「答えがわかっているのに、どうして手を上げなかったの」「別に…皆んなが上げているから…」「なるほどね。お母さんは、Mちゃんの年頃は、やはり元気に手を上げて答える子供でしたか」「もちろんそうだ…と思います」「そうでしょうね。4年生の時のことでもよく覚えていますね。今日の場合、そのクラスには4つのタイプがありますよね。



かべや ふみお
壁谷 文男

答えが (1) わかっていて手を上げる子
(2) わかっていて手を上げない子
(3) わからなくて手を上げる子
(4) わからなくて手を上げない子

では、(1) がやはり、1番良い子で望ましいのでしょうか。確かに(1)は素直で、先生の期待を理解し、その場の雰囲気盛り上げます。でも(2)はどうでしょう。私にはこの子は年令よりも思考力が発達し、控えて思慮深いと思われる。 (3)は、協調性があり、誰からも好かれます。(4)は正直で、勇気があるとは考えられませんか。中でもMちゃんは(1)を卒業し、(2)に成長しているのかもしれない。実は私は(2)と(4)でどちらにしても手を上げない子だったような気がします。その後、Mちゃんは元気にレッスンを受けてくれました。

本当は、母親は自分の子供の良いところはよく承知していたのでしょう。でも時々私たち指導者に確認させて安心したいのかも知れません。

プロフィール

武蔵野音楽大学音楽教育科卒業。

東京コンセルヴァトアール尚美ピアノ部門部長として新しいピアノ教育システムの研究、開発を行う。質の良い指導者教育をライフワークとして全国各地で指導法講座、公開レッスン、セミナー等実施し好評を博す。著書に、『ピアノはともだち』『円滑な自宅レッスン運営法』他。現在、ピアノ教育総合研究所代表、全日本ピアノ指導者協会正会員。ピティナピアノコンペティション全国決勝大会審査員他ピアノコンクール、グレードテスト審査員多数。



～連載～ ピアノレッスンの今後



♪♪♪♪ Music Key Lesson レポート ♪♪♪♪

岩瀬洋子・田村智子

このごろ講座の後、先生がたからこんな質問をたびたび受けます。「先生、最近の生徒さんは電子ピアノをお持ちの方がとても多くて、なかなか思うようなレッスンを進めることができません。どうしたらよろしいでしょうか。」実際、ミュージックキーにもいます。以前でしたら考えられないことですが、事実このようなお悩みの先生が多いようです。ではどう対処したらよいのか……。

まず(1)住宅事情でピアノが置けず、やむおえず電子ピアノを購入。これはしかたありません。逆に電子ピアノの良さを最大限に活かした練習の仕方などアドヴァイスしてあげてください。そのかわり、レッスンのときしっかりピアノを弾かせてあげたいですね。先生がたを悩ませるのは次のケースです。(2)ピアノと電子ピアノの違いも分からず、白黒の鍵盤があれば全てピアノと誤っていらっしやる方もいるようです。その上、持ち運びできるし、……どうせいつまで続くかわからないし……こっちは安いほうにしましょっと。これはただけじゃない。つまり正しい知識を持たず、安易に購入しています。その結果、我が子が「つまらないからピアノ辞める！」と言い出すや、止めることなく「ほら見なさい！すぐあきらんだから～。やっぱりパーゲンの安い楽器にしてよかったわ～」とあっさり、辞めさせてしまいます。せっかく始めたレッスンを辞めてしまったのに、無駄をしなくてほっとしているような……むしろそうなることを予期して安い楽器を買った自分自身を誇らしげに父親に話していたり……。こりゃあもうだめだ～。このように生徒がいとも簡単に辞めてしまう理由が楽器への意識の低さからくることもあるのです。つまり楽器のことだからと我々ピアノ教師は他人ごとの顔をしていられないのです。もちろん直接レッスンに響いてくるのは当然です。そこでミュージックキーでは入会される時、そのあたりの所(電子楽器とピアノの違い)をまず説明します。スタートの頃はすぐにはピアノがなくてもレッスンが進められます。自宅での練習に楽器が必要になったころ、こちらからお声をかけ、そろそろピアノをおそろしくようお話します。そして一言、ここが重要です。少々ドスをきかせて、「ぜひご両親が、清水の舞台から飛び降りるくらいの決心でピアノを買ってあげてくださいね。そうすれば子供さんが、壁にぶつかった時、あっさり辞めてよいなどはいえませんが、つらい事があっても簡単にあきらめない根気強い子供さんを育てるためにも……お分り頂きますね！」この最後の言葉はご両親にとってぐっとくるようです。ぜひお悩みの先生、お試しあれ～。

☆☆☆講座のご案内☆☆☆

●魅力的なピアノ教室実現のための「導入指導マスター講座」

講師：岩瀬洋子

今「ピアノのおけいこ」のあり方(練習しない親で根気がないなど)に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師(指導)、教室作り」が真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】[日時] 9/6、10/4、11/8、12/6 (全て金曜日)
9:45～12:00 [会場] 東京芸術劇場第5会議室(池袋駅西口徒歩3分)

●「アルフレッドレベル別講座」講師：田村智子

[日時] 9:45～12:00 7/19 (基礎コース3) 9/13 (基礎コース4)
10/18 (基礎コース5) 11/15 (基礎コース6) 12/13 (応用編)

[会場] 池袋芸術劇場第7会議室

●生徒の環境を踏まえ実践に即した「ピアノ指導法」

《生徒に振り回されない工夫導入編》

3回シリーズ 5/28 (火) 6/25 (火) 7/16 (火)

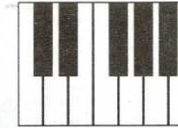
[会場] 沼津すみや 時間10:30～12:30

【問合せ・申込み】ミュージックキー

Tel/Fax 0559-89-3900 (担当：植松)



マエストロの 観 点



“指揮科の入試”

小田野 宏之

(おだのひろゆき 指揮者)



音楽大学指揮科の入学試験とはどんなものか、皆さんあまりご存じ無いのでは？

もちろん、実際に指揮をする試験はあります。予め発表されている課題曲を、1次試験ではピアノを相手に、2次では弦楽オーケストラを相手に振るのです。ピアノを相手に振ると言ってもあたかも目の前にフルオーケストラがいるつもりで指揮するわけで、ピアニストもフルオーケストラとして反応しますから、家でCDに合わせて踊る(?)練習をしてきた人はすぐにバテてしまいます。

しかしもっと大切な試験は、いかに目の前で鳴っている音をちゃんと聴けるか、楽譜を瞬時に正確に読めるかという、指揮者にとって最も基本的で大切な能力を試す試験の方なのです。

聴音はピアノによる一声と二声、和声のほかに、目の前で生で演奏される木管四重奏の小曲を書き取るというシビアなものもあります。これは練習をすることができないので、私はかつて木管アンサンブルのレコードを聴いて音色や音域に慣れたものでした。

指揮者が読むスコアには楽器の種類の数だけ段があり、それを同時に読まなくてはなりません。したがって簡単なスコアを初見でピアノで演奏するという試験、それに移調楽器を読むためにソプラノ記号やテノール記号などで書かれた譜面を歌ったりピアノで演奏する試験があります。その他にもピアノを含む得意な楽器で自由曲を演奏して演奏家としての中身を見られる試験など、実に盛りだくさんです。まあ、あれだけの楽器と奏者を仕切らなければならない仕事なので、チェックが厳しくて当然かもしれないが……。

♪小田野宏之先生 今後の主な公演スケジュール♪

=== 札幌交響楽団 ていねの森コンサート2002 ===

2002年7月27日(土)13:30開演
小田野 宏之 / 札幌交響楽団
プログラム
グリーンカ:「ルスランとリュドミラ」序曲
ロジャース:「サウンド オブ ミュージック」セレクション
ワーグナー:「ニルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲 他
お問い合わせ先:手稲ふるさとコンサートの会
TEL 011-741-8307 (入場無料)

—— 筆者プロフィール ——

東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。同大学大学院修了。
大阪センチュリー交響楽団指揮者、広島交響楽団正指揮者を歴任。
東京芸術大学非常勤講師。